

令和2年度学校関係者評価委員会報告書

世田谷区立深沢中学校

1 アンケートごとの評価

I. 生徒のアンケートより

- ・回収率 全学年の配布数 366 通に対して 337 通の回答。回収率は 92%である。
- ・令和2年度の評価アンケートより、全 29 項目中 15 が新規項目である。
- ・学習指導についての全項目にて昨年度より肯定的回答率が増加している。
- ・生活指導についての 3 項目では全てが 80%以上の良い評価で、「私は学校のルールについて考えて行動している」は「とても思う」との回答が全学年において 50%を超えている。
- ・学校行事についても昨年度より 20 ポイント程度上がり、90%前後の肯定的な回答を得ている。「学校行事は楽しい」「達成感がある」の「とても思う」との回答は 7 割を占めている。
- ・キャリア教育についての項目では、肯定的な回答が 70%台ではあるが、全てにおいて昨年度よりアップしている。「自分の進路や将来の仕事について考える授業がある」の肯定的な回答は 78%であり、昨年度と比べ 29 ポイントも増加している。1 学年は 68%、2 学年は 76%、3 学年は 89%と学年が上がるにつれ、評価も上がっている。「進路や将来の仕事に関する情報を提供している」の「とても思う」「思う」との回答は、1 学年では 57%だが、3 学年では 89%と上がってくる。学年によってかなり差が見られるので、1 学年からキャリア教育について何らかの情報提供がなされるよう検討していただきたい。
- ・「先生たちは生徒に分かりやすく指導している」の肯定的な回答は、昨年度より 12 ポイント上がり 88%の高評価である。「生徒が相談しやすい」については全学年平均で 68%が良い評価であるが、2 学年の 30%が「あまり思わない」「思わない」と回答しているので、どの学年においても先生に相談しやすい環境作りに引き続き取り組んでいただきたい。
- ・学校全般の「学校生活は楽しい」については全学年とも 90%以上、「達成感がある」については 80%以上が肯定的な回答である。
- ・「学び舎の小学校に行ったり、小学生がきたりする機会がある」では平均して 25%が肯定的な回答で、1 学年では「わからない」が 38%にも上った。コロナ禍で、実際、学び舎の小学校と行き来できなかったため、このような結果となった。次年度には感染防止対策をした上で、何らかの交流が持てるよう検討していただきたい。
- ・「家庭で宿題や e ラーニングなどで学習している」については、1 学年 33%、2 学年 37%が否定的な回答をしており、今後の改善が望まれる。
- ・部活動については 80%を超える良い評価である。
- ・独自項目は全てにおいて昨年度より評価が上がっている。「自分には良いところがある」は昨年度より 10 ポイント上がり 76%の肯定的回答である。「友達と学校で活動することは楽しい」については「とても思う」との回答が 70%を超えている。今後も、中学校時代を友達と関わり合いながら過ごすことの大切さに気づいてもらえるようなご指導をお願いしたい。

Ⅱ. 保護者のアンケートより

- ・回収率 全学年の配布数 336 通に対して、304 通の回答があった。回収率は 90%である。
- ・令和 2 年度の評価アンケートより、全 38 項目中 14 が新規項目である。
- ・学習指導については、新型コロナウイルス感染症対策のため、保護者の来校する機会がほとんどなく、授業等の様子をうかがうことができなかったこともあり、「わからない」との回答が 3 割を超えている項目が多い。
- ・「映像やタブレットなどの ICT を利用している」について、2・3 学年の 4 割が「あまり思わない」「思わない」と否定的な回答をしている。
- ・生活指導について、「学校のルールについて子どもに考えさせる指導をしている」の肯定的な回答は、昨年度と比べ 13 ポイント下がり 67%であった。
- ・学校行事は「子どもにとって楽しく」「達成感がある」、「子どもの意欲を大切にしている」の各項目については、80%以上が肯定的な回答である。
- ・キャリア教育の評価は従来より肯定的な回答が多くなく、今回の 3 項目についても「とても思う」「思う」との回答は、55%、63%、55%と良い評価とはいいがたい。特に 1 学年の「わからない」との回答は 48%、40%、47%であった。ただ、2 学年、3 学年になると「わからない」は減少する。「子どもの進路や将来の仕事について考える授業がある」の 3 学年の回答は 84%が肯定的な良い評価であるので、学年が進むにつれ進路や将来についての授業・情報が提供されることを他学年にも発信する必要があると思われる。
- ・学校全般について、「学校生活は子どもにとって楽しい」は 90%が肯定的に答えている。新しい項目の「学校生活は子どもにとって達成感がある」も 81%が良い評価である。しかし、「家庭で宿題や e ラーニングなどで勉強している」について肯定的な回答は 54%にとどまり、1 学年で 4 割、3 学年で 3 割が「あまり思わない」「思わない」と回答している。この評価アンケートが行われた後の 12 月より、3 学年に一人 1 台のタブレット端末が貸与されたとのことなので、次年度には必ず高評価になるであろうと期待したい。
- ・「学び舎の小学校に行ったり来たりする機会がある」については、昨年度 85%の高い評価であったが今回は 48%であり、「わからない」との回答が 3 割近くに及んだ。コロナ禍において、学び舎の小学校と関わる機会がほとんどなかったことで致し方ない。次年度には感染対策を講じ、少しずつ学び舎の活動を増やしていただきたい。
- ・部活動は「子どもにとって楽しい」「達成感がある」との項目については肯定的な回答が 80%を超えている。平均して 50%が、さらに 1 学年においては 60%近くが「とても思う」と答えている。今後も、充実した部活動が活発に行われるようお願いしたい。
- ・学校からの情報提供、特に「ホームページやメールなどで、保護者に情報を提供している」については、肯定的な回答が昨年度 58%より、30 ポイント上がり 88%と高評価であった。また「学校・学年だよりなどで、保護者に情報を提供している」についても、昨年度 88%からさらにアップして 96%という誇れる評価となった。しかも、1 学年の 52%が「とても思う」と回答している。コロナウィルスの影響で学校に足を運べない分、学校や各学年のお便りがいつにも増して素晴らしいものになったのであろうと想像する。
- ・「学び舎」の情報については、昨年度は 84%の肯定的回答を得られたが、今回は 55%と振るわなかった。行事・イベントがあった場合は情報発信しやすいが、なかった場合でも「関係する取り組み」を載せるなど工夫をして、情報を届けていただきたい。

- ・地域については3項目とも肯定的な回答は50%強にとどまったが、否定的な回答はほぼゼロであり、「わからない」は3割、特に1学年では4割以上あった。コロナ禍で地域の方の来校する機会もなく、学校協議会や地域行事も中止となったので致し方ない。次年度は、やり方を考えて、地域との関わりが持てるような取り組みを進めていただきたい。
- ・学校の安全性については、施設とともに避難訓練やセーフティ教室など安全指導の面でも昨年度より10ポイント上がり、高評価となっており、3学年では90%を超えている。
- ・学校運営において、「保護者に学校の教育方針を伝えている」は昨年度64%より22ポイント増加し、86%の肯定的な回答を得ている。「わからない」が20ポイント減少したことが大きいのであろう。
- ・ほとんどの独自項目において評価が上がっている。6-(1)と同様のアンケート項目ではあるが、「お子様は学校生活を楽しく過ごしている」は94%が「とても思う」「思う」と答えている。今後も学校生活を楽しく過ごせる深沢中学校であってほしい。

Ⅲ. 地 域の方のアンケートより

- ・回収率 学校協議会委員（まちづくりセンター、消防、各町会長、青少年委員など）65名にアンケートを配布し、37名の回答をいただいた。回収率は57%である。
- ・学校行事については80%以上が肯定的な回答である。
- ・学校からの情報提供について、「学校からのお知らせや学校だよりなどにより、学校の様子がよくわかる」は昨年度より27ポイント上がり94%という高い評価を得ている。ホームページに関する項目では3割が「わからない」との回答をしているので、ホームページにアクセスできない環境にある地域の方に対する情報提供のあり方を更に検討していただきたい。
- ・地域との連携についての項目では肯定的な回答が減少しており、「わからない」との回答が3割程度となった。コロナの影響で、地域の方も来校する機会がなく、学校協議会も開催されなかったことも関係すると考えられるので、次年度は学校を訪れる機会が少しでもできるよう検討していただきたい。
- ・学校の安全性では、「安心・安全な学校づくりを進めている」の肯定的な回答が昨年度より34ポイント上がり94%、「安全性を高めようと地域と協力している」が19ポイント上がり84%という高評価である。今後も安心・安全な町づくりを地域とともに進めていただきたい。
- ・学校運営について「重点目標が明確である」という項目では9割が肯定的に回答しており、学校、地域が一丸となって、深沢中学校の子どもたちを育てていく姿勢がうかがえる。

2 評価項目ごとの評価

I. 重点目標について

「主体的・対話的で深い学び」で課題解決的な学習の展開に向けた授業改善
意欲的に学び確かな学力を育む生徒を育成する。

わかる授業・魅力ある授業を追求し、授業力向上に励む教員集団であり続ける。

- ・学習指導に関する生徒の回答は、肯定的な評価が80%を超えている。保護者においてはコロナ禍で来校が制限されたためであろうか、「わからない」との回答が30%以上を占めている。
- ・「生徒の意欲を大切にしている」との項目に対する肯定的な回答は生徒86%、保護者80%と高い

評価を得ている。

様々な配慮を要する子どもに対しての一人一人に寄り添った指導体制の構築

秩序ある学校生活の中で互いに尊重し合う自律した生徒を育成する。

いじめの予防や早期対応への指導体制を徹底する教員集団であり続ける。

- ・学校のルールを問う項目では、8割を超える生徒が肯定的な回答をしている。「学校のルールについて子どもに考えさせる授業をしている」に対して保護者の66%が「とても思う」「思う」と回答しており、20%が「わからない」と答えている。
- ・教職員についての項目では、保護者の7割以上が肯定的な回答をしており、86%が「教職員は子どもたちを大切にしてくれる」と良い評価をしている。
- ・「先生たちは、生徒にわかりやすく指導している」の生徒の肯定的評価は88%であるが、「先生たちは、生徒が相談しやすい」に対しては、68%にとどまっているので、重点目標にあるよう、一人一人に寄り添った指導、一人一人を尊重した対応をしていただきたい。

多様性を理解し尊重する豊かな心を育成する。

たくましく社会を生き抜く力と、自分も他人も大切にする生徒を育成する。

社会の変化にしなやかに対応し、成長し進化し続ける教員集団であり続ける。

- ・「気持ちの良い挨拶と言葉づかい」「思いやり」に関する項目では、生徒も保護者も80%以上が肯定的な回答をしている。「体力や健康」について、保護者は81%の好評価であり、生徒は74%であった。心身ともに健康であることは大切であり、進んで心身を鍛えるチャンスが深沢中学校にはたくさんある。生徒自身も意識しながら、こころとからだが健康であり続け、且つ強く育つよう、引き続き柔軟な対応・ご指導をお願いしたい。

II. 地域とともに子どもを育てる教育について

- ・「地域の人や施設を教育活動に生かしている」保護者の肯定的な評価は53%で「わからない」が31%、地域は68%が肯定的な回答で昨年度より18ポイント下がっている。「地域の活動や行事に協力的である」の保護者の評価は55%、「わからない」は32%、「地域に情報を提供している」51%、「わからない」38%であった。地域の「学校協議会・合同学校協議会」に関するアンケートでは、昨年度と比べ11ポイント減の56%が肯定的な評価で、33%が「わからない」と回答している。新型コロナウイルス感染症の影響で保護者・地域とも「わからない」との回答が目立っている。次年度は十分な対策を行った上で、「夢フォーラム」「避難所運営訓練」など卒業生や地域の人材を活用する場をぜひ設けていただきたい。
- ・「学び舎」について、保護者の「とても思う」「思う」との回答は50%前後、地域は69%であった。例年、肯定的な評価を得がたいアンケート項目であり、今年度はコロナ禍で小中学校の交流・連携が困難であったが、この経験を踏まえ、次年度は「部活動体験」「小学校連動運動会の練習」「中学校教員による小学校での授業」など可能な限り小・中の繋がりを強化していただきたい。

III. 未来を担う子どもを育てる教育について

- ・学習指導について、「授業では生徒の話し合いや発表などの機会がある」の生徒の評価は92%と非常に高い。積極的、意欲的に取り組み、コミュニケーション能力の高い生徒の育成を引き続きお願い

いしたい。

- ・生活指導の3項目については、全て80%以上の肯定的な回答であったが、次年度も学校の決まりや社会のマナー・ルールを理解し確認し合う機会を設けていただくよう望む。
- ・学校行事に関して「楽しい」「達成感がある」「意欲を大切にしている」を問う項目や、部活動に関しては、保護者の80%以上、生徒の90%近くが肯定的な回答である。

IV. 信頼と誇りのもてる学校づくりについて

- ・生徒の「住んでいる地域が好きである」、保護者の「教職員は子どもたちを大切にしている」の回答はともに86%という高評価である。教育方針、重点目標について、保護者や地域の肯定的評価は高く、昨年度より20ポイント上がっている項目もある。一方、「教職員（先生）への相談」や「学校の説明・対応」についての肯定的な回答は6割7割にとどまっている。「学校生活が楽しい」では、生徒90%、保護者94%という素晴らしく高い評価を得ている。深沢中学校に関わる人々が信頼し協力し合う関係を築き、深沢中学校で良かったと思えるような経験やご指導をいただけることを次年度も期待している。

V. 教育環境の整備について

- ・保護者の「子どもにとって安全である」は90%が良い評価である。地域の学校の安全性に関する肯定的な評価は94%である。施設・設備の安全性や適切な訓練が行われていることがわかる。

VI. 学校生活全般について

- ・学校生活に関する肯定的な回答は生徒・保護者ともに「楽しい」が90%、「達成感がある」が81%、生徒の「友達と学校で活動するのは楽しい」は93%と非常に高い評価である。深沢中学校生活が楽しく、充実していることがうかがえる。引き続き、重点目標にあるように一人ひとりに寄り添った指導、自己を高め意欲的に取り組む生徒の育成をお願いしたい。

VII. 数値目標について

- ・「気持ちのよい挨拶と言葉づかい」については、生徒85%、保護者86%、「思いやり」に関する項目については、生徒83%、保護者91%というかなり高い評価を得た。
- ・「お子様は夢を育もうとしている」は保護者の肯定的回答が78%、「自分には良いところがある」の生徒の回答は昨年度より10ポイント上がり76%であった。引き続き、生徒の自尊感情・自己肯定感を高めるような対応やご指導をしていただきたい。

VIII. 「学び舎」の目標について（平成28度より独自項目生徒アンケート実施）

- | | |
|-------------------------------|----------|
| ①「自分には良いところがある」を80%以上にする。 | 評価結果 76% |
| ②「友達と学校で活動することは楽しい」を85%以上にする。 | 評価結果 93% |
| ③「自分が住んでいる地域は好きである」を80%以上にする。 | 評価結果 86% |

- ・昨年度と比較して、①②③とも評価は上がっている。①については昨年度より10ポイント増ではあるが、目標数値に達成しなかった。

自分を見つめ直し、自分は唯一無二の存在であり、自分は必要とされていることを認識し、自己肯定感・有用感を高められるよう、学習・行事・部活動・地域行事や活動において一人ひとりが

輝く機会を今以上に作っていただきたい。それに応えて、向上心をもって意欲的に取り組む生徒に育つことを期待したい。

3 学校自己評価について

I. 学校自己評価の方法は適切であるか

- ・適正に実施されている。

II. 学校自己評価の結果の内容は適切であるか

- ・内容については適正である。
- ・結果については、ほとんどが良い評価であるが、新型コロナウイルス感染症の影響であろうか、例年に比べ若干ではあるが、否定的な評価がなされている。

III. 学校自己評価の結果を踏まえた改善方策は適当であるか

- ・各評価項目ごとに検討された改善策が明記されており適切であるといえる。項目によっては学年別の改善策も必要かと思われる。改善策ではなく感想や実状のみが記載されている項目もいくつか見られるので、もう少し踏み込んで検討し、具体的な改善策をあげていただきたい。

4 学校の課題及び学校への提言

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の感染防止のため休校からスタートした。生徒・保護者はもちろん学校・教職員は感染防止対応に追われる1年間であったといえる。入学式や体育祭など来賓を除き、参加保護者の制限や内容を精査して行事を実施することにより、生徒の安全を図り学校運営を行ってきたことがうかがえる。このような困難な状況において行われた学校評価であるが、本校の教育活動全般を通しておおむね高い評価を得ることができた。

- ・学習指導についての全項目で生徒は、昨年度より肯定的評価が得られている。保護者については、来校する機会がほとんどなく、わからないとの回答が多かった。
- ・キャリア教育について、生徒は全てにおいて昨年度よりアップしている。ただし、学年によってかなり差が見られる。また、保護者については肯定的評価が低いので、1学年からキャリア教育について何らかの情報提供がなされるよう検討していただきたい。
- ・先生の指導については高評価であるが、生徒の相談しやすさについては学年によって差があるので、どの学年においても先生に相談しやすい環境作りに引き続き取り組んでいただきたい。
- ・ICTの活用について、否定的な回答が多かったがアンケートの回収後に一人一人にタブレットが貸与されたので、授業等で活用を進め、次年度の評価が期待される。
- ・「学び舎については、次年度には感染防止対策をした上で、何らかの交流が持てるよう検討していただきたい。
- ・家庭での学習への取り組みでは、1・2学年が否定的な回答が多く、今後の改善が望まれる。
- ・学校からの情報提供、特に「ホームページやメールなどで、保護者に情報を提供している」については、肯定的な回答が昨年度より上がり高評価であった。また「学校・学年だよりなどで、保護者に情報を提供している」についても、さらにアップして誇れる評価となっているので継続していただきたい。

- ・学校運営において、「保護者に学校の教育方針を伝えている」は大幅に増加し、肯定的な評価を得ているので保護者や地域に発信し続けてほしい。
- ・地域において学校からの情報提供については、「学校からのお知らせ」や「学校だより」などにより、学校の様子がよくわかるという高い評価を得ている。一方、ホームページに関する項目では3割が「わからない」との回答をしているので、ホームページにアクセスできない環境にある地域の方に対する情報提供のあり方を更に検討していただきたい。

5 総合所見

保護者アンケート、生徒アンケート、地域アンケート、学校自己評価アンケートの実施、集計、分析においては適正に行われています。重点目標に沿った教育・取り組み・指導が行われていることもうかがえました。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の対策によって緊急事態宣言が発出され、臨時休校よりスタートするという異例の年になりました。行事の中止、縮小など前例のない状況が未だに続いています。新しい生活様式を取り入れつつ、一所懸命教育活動をされている教職員の皆さまに感謝しております。引き続き、校長のリーダーシップの下、教職員の皆さまが一丸となって『チーム深沢』として生徒・保護者・地域に寄り添い、ともに協力し合って、深沢中学校が「未来を拓き夢を叶える学校」に育つことを楽しみにしています。

令和2年度 世田谷区立深沢中学校 学校関係者評価委員会

委員長	井坂 聡	(事務局)	新妻 弘樹
委員	青柳 義博		佐藤 哲
	菅田 輝代志		山口 拓也
	谷岡 美貴		森岡 美奈子